

平成 2 7 年度

第 2 回 八代市地域公共交通会議 会議録

平成 2 7 年 6 月 1 5 日作成

八代市地域公共交通会議 会長 永原 辰秋

【協 議 日】 平成27年6月12日（金） 10時～11時

【場 所】 八代市役所 5階 大会議室A

【出 席 者】 25名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
会長	八代市 副市長	永原 辰秋
委員	産交バス（株）八代営業所長	谷本 正己
委員	（社）熊本県バス協会 専務理事	新居 唯一
委員	（社）熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義
委員	八代市タクシー協会 会長	神園 喜八郎
委員	八代市身体障害者福祉協議会 会長	渡瀬 隆
委員	八代市地域婦人会連絡協議会 会長	堀田 陽子
委員	八代市老人クラブ連合会 会長	米田 常男
委員	八代地域 代表	徳田 武治
委員	坂本地域 代表	谷口 信吾
委員	千丁地域 代表	上 五雄
委員	鏡 地域 代表	堀 明
委員	東陽地域 代表	後村 新一
委員	泉 地域 代表	竹村 博文
委員	九州運輸局 熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	牛島 光英
委員	九州運輸局 熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）	松野 完治
委員	国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 八代維持出張所 所長	長野 秀隆
委員	熊本県県 南広域本部 維持管理課長	澤田 誠一
委員	八代市 土木課長	松本 浩二
委員	八代警察署 交通第一課長	堤 信二
委員	氷川警察署 地域・交通課長	麻生 正道
委員	熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 准教授	柴田 祐
委員	八代校長会	山鹿 智
委員	熊本県 企画振興部 交通政策・情報局 交通政策課 審議員	前田 隆 代理：新屋 美祐希
委員	八代市 企画振興部長	福永 知規

【欠 席 者】 3名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
委員	（株）麻生交通 代表取締役	麻生 伸一
委員	全九州産業交通労働組合 書記長	貢 博之
委員	氷川町 総務課長	陳野 信次

【事務局】

	政策審議監	内田 清之
企画振興部	次長	丸山 平之
企画振興部	次長	増住 眞也
企画振興部	政策調整審議員	稲本 俊一
企画政策課	課長	宮川 武晴
企画政策課	課長補佐	田中 孝
企画政策課	係長	草西 亮介
企画政策課	主査	篠原 秀和

【公開状況】 公開（ただし、協議事項については、今後の委託契約等に影響する情報が含まれていたため非公開。）

【傍聴者数】 2名

【議事及び資料】

《報告事項》

（１）平成２６年度事業報告及び決算について

【資料：平成２７年度第２回八代市地域公共交通会議 議事説明（以下、「議事説明資料」と記載。）】

（２）平成２６年度会計監査報告について 【資料：議事説明資料】

（３）平成２７年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画推進事業））の交付申請について

【資料１】

（４）路線バス運行内容見直しの検討状況について

【資料２】

～ 以降、非公開 ～

《協議事項》

（１）平成２７年度事業計画（案）及び予算（案）について

【資料：議事説明資料】

（２）八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案競技の実施について

【資料３】

（３）八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 設置要領（案）及び選考委員の選任（案）について

【資料４】

※ 協議事項については、非公開の為、議事録の公開についても、資料の添付は行わない。

【所管課】 企画政策課 企画係 （内線２２６３）

【発言要旨】

《報告事項》

「（１）平成２６年度事業報告及び決算について」及び「（２）平成２６年度会計監査報告」については、関連事項のため、一括して審議。

(1) 平成26年度事業報告及び決算について

① 平成26年度事業報告

- ・平成26年度は、八代市地域公共交通会議を5回。分科会として、公共交通ネットワーク分科会を3回、乗合タクシー分科会を2回、計10回の会議を開催した。
- ・議事説明資料に記載されている「主な協議内容」を協議し、パブリックコメント等を実施した上で、「八代市地域公共交通網形成計画」(以下、「網形成計画」と記載。)を策定し、国へ提出した。

② 平成26年度決算報告

- ・議事説明資料「②平成26年度決算報告」に記載されているとおり、国補助金 8,000,000 円、市補助金 2,525,624 円の補助を受け、委員報酬 401,200 円、会議出席のための委員旅費 57,960 円、委託料の振込手数料 864 円、八代市地域公共交通計画策定調査業務委託料 10,065,600 円を支出。
- ・歳入 10,525,624 円、歳出 10,525,624 円、差し引き 0 円の同額決算であった。

(2) 平成26年度会計監査報告

- ・監査委員の代表として、徳田監査委員から、平成27年5月25日、収支決算について、関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを確認したとの会計監査報告が行われた。

<質問・意見>

- ・質問・意見無し

⇒ 原案のとおり可決

(3) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業(計画推進事業))の交付申請について

- ・昨年度策定した「網形成計画」に記載されている「6-2-(5)公共交通の有効活用に関する施策展開」の「①積極的な広報・分かりやすい情報提供や利用の“きっかけ”づくりの実施」及び「③モビリティ・マネジメントの実施」を推進するため、補助金の交付申請を行う。
- ・「モビリティ・マネジメント」とは、ひとり一人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(例えば、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向)に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策である。
- ・国補助金の補助率は補助対象経費の1/2。
- ・交付申請が採択された際には、残り1/2について、市からも補

助を受けるため、市の９月議会にて、補正予算を提案し、審議いただく予定。

- ・ 地域公共交通会議の平成２７年度予算については、採択を見込み満額で計上しているが、今後の状況に応じて補正を行う予定。
- ・ 実施内容及び年度スケジュールについては、【資料１】に記載されているとおり。

＜質問・意見＞

- ・ 質問・意見無し

⇒ 原案のとおり可決

（４）路線バス運行内容見直しの検討状況について

① 路線バス：君ヶ淵線の路線変更について

- ・ 重複路線を解消し、需要が高い路線の延伸を行うことで、コスト削減と利用者の増加を図るため、路線変更を行うもの。
- ・ 詳しくは【資料２】を参照。
- ・ 【資料２-①】については、「網形成計画」の５１ページに掲載されているもので、路線の課題を整理しているもの。
- ・ 北の方では「鏡四つ角～古閑出」、南の方では「敷川内～君ヶ淵駐車場」の間で路線の重複が見られる。
- ・ 現在、見直し検討している「敷川内～君ヶ淵駐車場」の間では、３路線が重複し、運行頻度が過剰となっている。
- ・ 【資料２-②】は運行ルートが記載されている。見直しを検討しているのは、日奈久下西町から君ヶ淵駐車場までの３.８km。
- ・ 【資料２-③】は「網形成計画」を作成する際に、バス事業者からいただいた乗降データを分析したもの。
- ・ “上り”は、君ヶ淵駐車場から八代市役所方面へ向かうもの。
“下り”は、八代市役所方面から君ヶ淵駐車場へ向かうもの。
- ・ 区間別利用状況を見てもらうと、利用者が多いところの線が太くなっているが、“上り”だと君ヶ淵駐車場から日奈久までは利用が少なく、日奈久から八代駅方面に向かう利用者が多いことが分かる。
- ・ “下り”も同様の傾向に、日奈久温泉駅から君ヶ淵駐車場の間の利用者が少ない。
- ・ 【資料２-④】左中央のグラフが敷川内から君ヶ淵駐車場までの１便あたりの乗車人数を示しており、緑色が田浦線、青色が大門瀬線、赤色が君ヶ淵線となっている。
- ・ 田浦線、大門瀬線については、一定程度、常時の利用が見られるものの、君ヶ淵線については、日奈久地域から先が有効に利用されていないため、見直しの検討をしていきたいと考えている。今後、地元にも説明に入りたい。

② その他

- 八代市二見赤松町「大平本村」バス停を「大平」バス停へ名称変更。
 - ・ 以前は近くに2つの路線が走っており、バス停を区別するために、後からできたバス停が「大平本村」というバス停の名称になった。
 - ・ 現在は、バス停も1つとなっており、本来「大平本村」という地名は存在しないことから、名称を「大平」にしてほしいという地元からの要望があったため名称変更を行うもの。
- 椎原線路線のせかえにともなう出発時間変更。
 - ・ 先日、平成27年度 第1回 八代市地域公共交通会議（文書協議）にて、椎原線のルート変更の協議をお願いしたが、そのルート変更に伴い、運行時間の調整を行うもの。

＜質問・意見＞

- ・ 質問：A委員
君ヶ淵線の見直しについて、見直しを検討している日奈久の最後のバス停の名称を教えてほしい。
⇒回答：下西町というバス停になる。
- ・ 質問：A委員
【資料2-③】の区間別利用状況の表には、下西町というバス停の名称は出てこないが、どのあたりになるのか。
⇒回答：馬越というバス停の1つ手前（日奈久温泉前側）のバス停になる。
- ・ 質問：A委員
日奈久温泉前と馬越の間ということでよいか。
また、その間が見直しの対象となるということか。
⇒回答：日奈久温泉前と馬越の間である。下西町から君ヶ淵駐車場までの間が見直しの対象である。
- ・ その他、質問・意見無し

⇒ 原案のとおり可決

＜協議事項＞

(1) 平成27年度事業計画（案）及び予算（案）について

① 平成27年度事業計画（案）

- ・ 公共交通会議については、第1回の文書協議、今回の会議を含め、5回の会議を開催予定。
- ・ 分科会については、公共交通ネットワーク分科会、乗合タクシー分科会を3回開催予定。
- ・ 昨年策定した「網形成計画」を基に、国補助金の採択を受け、「再編実施計画」の策定に取り組む再編計画策定事業を実施。
- ・ 本日の「協議事項」の「(2) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案競技の実施」、「(3) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 設置要領（案）及び選考委員の選任（案）」を踏まえ、プロポーザル方式の委託契約先選定を実施した後、「再編実施計画」を策定するための調査等に取り組む。
- ・ また、次第の「報告事項」(3)でも説明した「平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画推進事業））」（以下、「計画推進事業」という。）についても取り組んでいく計画。
- ・ 6月に交付申請し、7月に交付決定がいただければ、市が補助を行う分の補正予算について9月議会で審議いただく。
- ・ その後、業者選定と契約を行った上で、公共交通に関する啓発冊子及び総合時刻表の作成、学校、企業に対するモビリティ・マネジメントの実施、事業結果のとりまとめ、報告書の作成を行う。

② 平成27年度予算（案）

- ・ 歳入は、国補助金として、再編実施計画策定事業、計画推進事業（補助率1/2）に対する補助金を計上。
- ・ 市補助金として、再編計画策定事業の国補助金対象外経費、計画推進事業（補助率1/2）に対する補助金を計上。
- ・ 歳出は、委員報酬、会議出席のための委員旅費、報酬や委託料等の振込手数料、再編計画策定事業・実証実験・計画推進事業を実施する際の委託料を計上。

＜質問・意見＞

- ・ 質問・意見無し

⇒ 原案のとおり可決

「(2) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案競技の実施」及び「(3) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 設置要領(案)及び選考委員の選任(案)」については、関連事項のため、一括して審議。

(2) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案競技の実施について

- ・【資料3-①】「八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務に係る企画提案競技実施要領(案)」及び【資料3-②】「八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 仕様書」について説明。

(3) 八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 設置要領(案)及び選考委員の選任(案)について

- ・【資料4】「八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 設置要領(案)」及び「八代市地域公共交通再編実施計画策定調査業務 企画提案選考委員会 委員(案)」について説明。

<質問・意見>

- ・ 質問：A 委員
仕様書の業務目的に「本業務は、網形成計画を踏まえ」とあるが、「網形成計画」はホームページ等一般に公開されているのか。
⇒回答：概要版等を支所等に配布し、閲覧できるようにしてあり、ホームページでもデータが公開してある。
- ・ 質問：A 委員
仕様書の業務内容(1) 実施区域の検討とあるが、設定の仕方として、八代市全域とか、五家荘だけを取り上げてといったプロポーザルの提案の仕方もあると思われるが、市として、公共交通会議として、区域は設定しないのか。また、課題に対する優先順位等はないのか。
⇒回答：網形成計画概要版のP26, 27施策展開に課題を踏まえて、今後の施策の展開をまとめてある。空白地や路線の見直しが必要な区域についても施策展開にまとめてあるので、「再編実施計画」では、その内容をさらに具体化していくということになる。
- ・ その他、質問・意見無し

⇒ 原案のとおり可決